

シラバス

令和7年度

MCL盛岡医療大学校

トータルケア鍼灸学科		基礎分野	
科目名		講師名	
コミュニケーション学		藤井 知弘	
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数	教育方法	
1年・後期	30時間／2単位／15回	講義	
授業概要 (目的)	人とのコミュニケーションがどのように成立するかについての基礎理論を元に国語力を培い、社会に参加するために必要な「ことばの力」を身に付けることを目的とする。		
目標	1. 知識:社会生活に必要な語句・語彙力・表現力を身に付け使用することができる 2. 態度:コミュニケーションに必要な話す・聞く態度を身に付けることができる。受容的・共感的な対話能力を身に付けることができる 3. 技能:自分の言葉で考えたことを表現することができる		
授業内容	教育内容	教育方法・留意点	
	○コミュニケーションの課題 ○これから求められる国語力(文化庁答申) ○スピーチ実技(ショウアンドテル) ○スピーチ実技(自己PR) ○言語活動としての対話(診療場面設定による) ○話し合い活動の課題 ○ディスカッション実技(グループエンカウンター) ○論理的思考力と説明力 ○声の表現力 音読と朗読 ○プレゼンテーション実技	・講義 ・講義 ・講義／演習 ・講義／演習 ・講義／演習 ・講義 ・演習実技 ・講義 ・演習実技 ・演習実技	
成績評価の方法		テキスト・教材・参考書	
・授業内容についてのポートフォリオ ・プレゼン、スピーチなどの実技評価 ・ペーパーテスト			
担当教員の実務経験の有無	無		
実務経験の内容			

シラバス

令和7年度

MCL盛岡医療大学校

トータルケア鍼灸学科		基礎分野	
科目名		講師名	
保健体育		菅原 めぐみ	
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数	教育方法	
1年・前期	30時間／2単位／15回	実技	
授業概要 (目的)	心と体の健康を維持増進するために必要な知識や運動動作を習得する。また、実際に体を動かす事でスポーツの楽しさやリラックス効果を実感する。実生活と照らし合いながら健康を自ら考え、自分だけでなく他者の生命や健康に対しても適切に意思決定、行動選択を行うようになることを目的とする。		
目標	1.スポーツの楽しさやリラックス効果を実感する 2.自身の健康維持増のための知識や運動動作を習得する 3.スポーツや運動のルール、やり方を熟知し実践し、他者へ伝えることができる。 4.救急法(救急救命法)並びに救急搬送や手当の基本を理解し、実践出来るようにする。		
授業内容	教育内容		教育方法・留意点
	・ボールや用具を用いたスポレクを中心とした運動。 ・グループに分かれて運動指導(指導案の作成から指導実施、実施後評価、反省会)を行う。 ・障がい者スポーツに触れる。		怪我無く、スポーツや運動を楽しむこと。 運動の指導を行うことを体験する。
成績評価の方法		テキスト・教材・参考書	
出席、授業への取り組み意欲や態度を参考に評価を行う。		なし	
担当教員の実務経験の有無	無		
実務経験の内容			

シラバス

令和7年度

MCL盛岡医療大学校

トータルケア鍼灸学科		基礎分野	
科目名		講師名	
基礎運動学		清水 茂幸	
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数	教育方法	
1年・後期	30時間／2単位／15回	講義	
授業概要 (目的)	人間の身体運動を、解剖学をベースに学び、専門基礎分野につなげる。		
目標	1. 身体の運動の正しいメカニズムを理解すること。2. 基礎用語をしっかりと理解すること。3. 関節と筋肉の		
授業内容	教育内容		教育方法・留意点
	運動学の基礎 (関節と運動の力学、姿勢とその異常、運動路と感覚路、反射と随意運動) 身体運動の機能 (脊柱・体幹の機能、肩甲帯・肩の機能、肘と前腕の機能、手と手指の機能、骨盤と股関節の機能、膝関節の機能、足の機能、正常歩行と異常歩行、顔面および頭部の筋) などの内容を学び、正常時の身体の機能について理解する。		知識に関して: 関節に正しい動作とそれを支える筋肉の働きについて説明できる。 態度に関して: 正しい動作を自分自身で行うことができる。 技能に関して: 身体の正しい動作を理解した上で治療を行う力を身につける。
成績評価の方法		テキスト・教材・参考書	
中間試験及び期末試験の結果を基に、出席状況、出席態度を加味して評価する。		テキスト・教材・参考書 新版リハビリテーション医学	
担当教員の実務経験の有無		無	
実務経験の内容			

シラバス

令和7年度

MCL盛岡医療大学校

トータルケア鍼灸学科		基礎分野	
科目名		講師名	
英語		関井 純子	
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数	教育方法	
1年・前期	30時間／2単位／15回	講義	
授業概要 (目的)	外国人患者に対して適切な対応ができる英会話の技能を身に着ける		
目標	1. 鍼灸師として必要な語句や表現を理解して使えるようにする 2. 積極的に英語を学ぶ意欲を持つ 3. 日常英会話に慣れ親しむ		
授業内容	教育内容	教育方法・留意点	
	1. 受付で使う表現 (予約時間、名前、生年月日、国籍など) 2. 問診で使う表現 (症状、痛みの種類、期間、アレルギーなど) 3. 施術時に使う表現 (動作の指示や説明) 4. 施術後に使う表現 (会計や次回の予約など) 5. 日常会話の練習 (自己紹介、経験、食べ物や飲み物についての	音読練習、ロールプレイ	
成績評価の方法		テキスト・教材・参考書	
授業内に行う筆記テストと定期テストの合計点数により評価する		自作プリント	
担当教員の実務経験の有無	無		
実務経験の内容			

シラバス

令和7年度

MCL盛岡医療大学校

トータルケア鍼灸学科		専門基礎分野	
科目名		講師名	
解剖学 I		梶谷 聖	
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数	教育方法	
1年・前期	60時間／2単位／30回	講義	
授業概要 (目的)	人体の構成、骨格、筋肉と支配神経の基本構造を理解し、臨床疾患を理解する基礎形成を目指す。		
目標	人体各部の名称と位置について基礎知識を習得し、構造を説明できるようになる。		
授業内容	教育内容	教育方法・留意点	
	人体の構成、解剖学的用語 骨格系 1. 骨格系総論 2. 脊柱 3. 胸郭 4. 上肢・下肢の骨格 5. 頭蓋骨 6. 関節 筋系 1. 筋系総論 2. 体幹の筋 3. 上肢・下肢の筋 4. 頭頸部の筋	教科書内容に基づき講義を行い、不足分は別途資料を配布する。	
成績評価の方法		テキスト・教材・参考書	
定期試験の結果を主に、出席状況、授業態度、課題を加味して評価する。		解剖生理(医歯薬出版) 適宜プリントを配布する。	
担当教員の実務経験の有無	無		
実務経験の内容			

シラバス

令和7年度

MCL盛岡医療大学校

トータルケア鍼灸学科		専門基礎分野	
科目名		講師名	
解剖学Ⅱ		梶谷 聖	
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数	教育方法	
1年・後期	60時間／2単位／30回	講義	
授業概要 (目的)	人体を構成する呼吸器、生殖器、内分泌、泌尿器、循環器、消化器の基本構造を理解する。その働きと臨床疾患を理解する基礎の形成を目指す。		
目標	人体各部の名称と位置について基礎知識を習得する。		
授業内容	教育内容	教育方法・留意点	
	・呼吸器 ・生殖器 ・内分泌 ・泌尿器 ・循環器 ・消化器（肝臓、胆嚢、膵臓含む）	・教科書内容に基づき講義を行い、不足分は別途資料を配布する。	
成績評価の方法		テキスト・教材・参考書	
定期試験の結果を主に、出席状況、授業態度、課題を加味して評価する。		解剖生理(医歯薬出版) 適宜プリントを配布する。	
担当教員の実務経験の有無	無		
実務経験の内容			

シラバス

令和7年度

MCL盛岡医療大学校

トータルケア鍼灸学科		専門基礎分野	
科目名		講師名	
生理学 I		佐々木 香奈	
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数	教育方法	
1年・通年	60時間／2単位／30回	講義	
授業概要 (目的)	人体を構成する各器官系の働きや仕組みを理解し、正常な人体機能(生命活動)の理解を深めることを目的とする。		
目標	人体の各機能について基礎的知識を習得し、主要な機能について説明できる。		
授業内容	教育内容	教育方法・留意点	
	生理学 1. 消化と吸収 2. 代謝 3. 体温 4. 内分泌 5. 生殖・成長と老化 について学ぶ。	☐ プリントを使用して講義を行なう。 ☐ 授業の始めに小テストを行なう。	
成績評価の方法		テキスト・教材・参考書	
定期試験の成績を最重視し評価する。		解剖生理学教科書、作成したプリント	
担当教員の実務経験の有無	無		
実務経験の内容			

シラバス

令和7年度

MCL盛岡医療大学校

トータルケア鍼灸学科		専門基礎分野	
科目名		講師名	
生理学Ⅱ		加納 舞	
年次・開講時期		時間数／単位数／授業回数	教育方法
1年・通年		60時間／2単位／30回	講義
授業概要 (目的)	人体を構成する各器官系の働きや仕組みを理解し, 正常な人体機能(生命活動)の理解を深めることを目的とする.		
目標	1. 人体の各機能について基礎的知識を習得する. 2. 主要な人体の正常機能について説明できる.		
授業内容	教育内容		教育方法・留意点
	1. 生理学とは 2. 生理学の基礎 細胞の構造と機能, 物質代謝・体液組成 3. 循環 血液の組成と働き, 止血機構, 血液型, 血管 心臓の構造と働き, 血液・リンパ循環 4. 生体の防御機構 白血球の働き, 自然免疫と獲得免疫, 液性因子 液性免疫と細胞性免疫 5. 呼吸 呼吸器の概要, 換気とガス交換, 呼吸運動 呼吸調節 6. 排泄 腎臓の働き, 体液の調節, 腎循環, 尿の生成 腎臓と体液の調節, 蓄尿と排尿		・プリントを基に, スライドにて講義を進める. ・授業開始前に前回授業の確認テストを実施する. (グループフォーム使用) ・授業内容の予習・復習に, オンデマンド生理学動画(グループクラスルーム)を積極的に使用して理解を深めること.
成績評価の方法		テキスト・教材・参考書	
定期試験の結果を主に, 出席状況, 授業態度, 課題を加味して評価する.		解剖生理(医歯薬出版) 適宜プリントを配布する.	
担当教員の実務経験の有無		無	
実務経験の内容			

シラバス

令和7年度

MCL盛岡医療大学校

トータルケア鍼灸学科		専門基礎分野	
科目名		講師名	
臨床医学総論 I		佐々木 香奈	
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数	教育方法	
1年・通年	60時間／2単位／30回	講義	
授業概要 (目的)	医療面接技法、診察法、症候を把握し、患者を理解し、正しく診断して適切な医療行為を行なえるようにする。		
目標	1. 疾病の判断 2. 鍼灸治療の適切 3. 不適応の判断 を行なえる知識を身に付ける		
授業内容	教育内容	教育方法・留意点	
	1. 医療面接の進め方や方法 2. 生命徴候 3. 全身診察 4. 局所診察 5. 神経系診察 6. 運動系診察 7. 臨床検査 について鍼灸行為を行なっていく上で必要な技能を身に付ける。	☐ プリントを使用して講義を行なう。 ☐ 授業の始めに小テストを行なう。	
成績評価の方法		テキスト・教材・参考書	
定期試験の成績を最重視し、レポート等による総合評価		臨床医学総論、作成したプリント	
担当教員の実務経験の有無	無		
実務経験の内容			

シラバス

令和7年度

MCL盛岡医療大学校

トータルケア鍼灸学科		専門基礎分野	
科目名		講師名	
衛生学・公衆衛生		田沢 光正	
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数	教育方法	
1年・通年	60時間／2単位／30回	講義	
授業概要 (目的)	人間集団を対象とする生態系を含めた健康や疾病について、その予防や健康増進について理解できる。		
目標	1. 医療人としての衛生学・公衆衛生学の基本的知識と方法論を習得する。 2. 個人および集団の健康レベルと集団予防に寄与できる。 3. 患者および他の医療従事者とコミュニケーションが十分にとれる。		
授業内容			教育方法・留意点
	1. 公衆衛生n概念と歴史および健康の概念について学ぶ。 2. 新進の健康を保持・増進するための基本的知識と方法論について習得する。 3. 国・地方公共団体などの責任によって進められる保健行政(「地域保健、学校保健、産業保健、環境保健」)や保健統計について学ぶ。 4. 疫学的手法を学び、個人および集団に健康に寄与できる基本知識を身につける。		成績評価の方法 定期試験の成績により評価する。
成績評価の方法		テキスト・教材・参考書	
成績評価の方法 定期試験の成績により評価する。		衛生学・公衆衛生学(医歯薬出版) 講師が配布する{まとめ}と練習も問題	
担当教員の実務経験の有無	無		
実務経験の内容			

シラバス

令和7年度

MCL盛岡医療大学校

トータルケア鍼灸学科		専門基礎分野	
科目名		講師名	
医療概論		柿坂 昌美	
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数	教育方法	
1年・前期	15時間／1単位／8回	講義	
授業概要 (目的)	医学史は除き、現代の医療制度(医療従事者、医療施設、国民医療費、医療保険、介護保険)等を学び、医療従事者としての医の倫理を学ぶ。		
目標	施術者としての医の倫理を理解する。 現代の医療制度(医療従事者、医療施設、国民医療費、医療保険、介護保険)等について理解する。		
授業内容	教育内容	教育方法・留意点	
	1. 現代の医療制度(医療従事者、医療施設、国民医療費、医療保険、介護保険) 2. 医療従事者としての医の倫理		
成績評価の方法		テキスト・教材・参考書	
定期試験の成績により評価する。		医療概論、配布プリント	
担当教員の実務経験の有無	無		
実務経験の内容			

シラバス

令和7年度

MCL盛岡医療大学校

トータルケア鍼灸学科		専門分野	
科目名		講師名	
東洋医学概論 I		土屋 幸久	
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数	教育方法	
1年・通年	60時間／2単位／30回	講義	
授業概要 (目的)	精、気、血、津液の特徴を理解し、弁証論治の基礎を身につける。 陰陽、五行の考え方を身につける。		
目標	1. 陰陽学説、五行学説を用いた分類ができる。 2. 東洋医学的な特徴を踏まえた病因病機分類ができる 3. 精、気、血、津液の特徴を説明できる。 4. 経絡病証・奇経八脈病証を用いて病態分類ができる。 5. 証に対して難経六十九難の配穴を答えることができる。		
授業内容	教育内容	教育方法・留意点	
	1回・オリエンテーション(授業について) ・基礎理論(東洋医学の特徴) ・基礎理論(陰陽学説) ・基礎理論(五行学説) ・基礎理論(精・気・血・津液) ・基礎理論まとめ ・東洋医学の疾病感(病因病機分類と特徴) ・六淫の特徴 ・七情の特徴 ・経絡病証 ・難経六十九難		
成績評価の方法		テキスト・教材・参考書	
筆記試験による評価		・東洋医学概論 ・配布資料	
担当教員の実務経験の有無	有		
実務経験の内容			
東京医療専門学校附属鍼灸院(代々木院)にて2年の臨床経験あり、訪問鍼灸師として2年の臨床経験あり、盛岡医療大学校附属鍼灸院(盛医鍼灸院)にて8年の臨床経験あり			

シラバス

令和7年度

MCL盛岡医療大学校

トータルケア鍼灸学科		専門分野	
科目名		講師名	
東洋医学概論Ⅱ		梶谷 聖	
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数	教育方法	
1年・後期	30時間／1単位／15回	講義	
授業概要 (目的)	東洋医学的な臓腑の考え方を身に着ける。 臓腑の病態を鑑別する能力を身に着ける。 東洋医学的に病気を分類し、治法を導き出す力を身に着ける。		
目標	1. 臓腑の特徴とその病態を説明できる。 2. 弁証論治に必要な情報を理解できる。		
授業内容	教育内容		教育方法・留意点
	・東洋医学の基礎(陰陽五行、気血津液)復習 ・蔵象について(臓腑と相互関係) ・気血津液の相互関係 ・臓、腑、奇恒の腑の分類 ・肝、胆の特徴と病証 ・心、小腸の特徴と分類 ・脾、胃の特徴と病証 ・肺、大腸の特徴と病証 ・腎、膀胱の特徴と病証 ・心包、三焦の特徴と病証 ・複合病証 ・病証の種類と特徴		教科書内容に基づき講義を行い、不足分は別途資料を配布する。
成績評価の方法		テキスト・教材・参考書	
試験の結果を主に、出席状況、授業態度、課題を加味して評価する。		新版 東洋医学概論(南江堂) 配布資料	
担当教員の実務経験の有無		有	
実務経験の内容			
京都府内大学附属鍼灸センターにて5年間の臨床経験あり。 新潟県内鍼灸整骨院にて2年間の臨床経験有り。			

シラバス

令和7年度

MCL盛岡医療大学校

トータルケア鍼灸学科		専門分野	
科目名		講師名	
経絡経穴概論 I		堀 優貴	
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数	教育方法	
1年・通年	60時間／2単位／30回	講義	
授業概要 (目的)	鍼灸施術に特有な経絡および経穴の働き・意義・効果を理解し、東洋医学及び西洋医学両面から経穴の部位を修得することを目的とする。		
目標	経穴の意義を理解し、正しい部位や関係する筋や神経を理解できる。 要穴の暗記ができ、取穴ができる。 経穴を日常に取り入れ、他の人に紹介できる。		
授業内容	教育内容	教育方法・留意点	
	・経穴経絡の基礎、要穴について、十二経脈、奇経八脈 ・経穴の取得方法、解剖学的部位の把握 ・経穴の臨床的意義	プリントを基に、講義を進める。	
成績評価の方法		テキスト・教材・参考書	
定期試験の結果を主に、出席状況を加味して評価する。等		経絡経穴概論(医道の日本社) 適宜プリント配付	
担当教員の実務経験の有無	有		
実務経験の内容			
京都府内大学附属鍼灸センターにて5年間の臨床経験あり。 京都府内鍼灸院にて2年間臨床経験あり。 盛岡医療大学校にて2年間の教務経験と附属鍼灸院での臨床経験あり。			

シラバス

令和7年度

MCL盛岡医療大学校

トータルケア鍼灸学科		専門分野	
科目名		講師名	
経絡経穴概論Ⅱ		堀 優貴	
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数	教育方法	
1年・後期	30時間／1単位／15回	実習	
授業概要 (目的)	鍼灸施術に特有な経絡および経穴の働き・意義・効果を理解し、東洋医学及び西洋医学両面から経穴の部位を修得することを目的とする		
目標	経穴の意義を理解し、正しく取穴ができ、臨床に応用できる。		
授業内容	教育内容	教育方法・留意点	
	・経穴経絡の基礎、要穴について、十二経脈、奇経八脈 ・経穴の取得方法、解剖学的部位の把握 ・経穴の臨床的意義 ・要穴の取穴	プリントを基に、実習・演習を進める。	
成績評価の方法		テキスト・教材・参考書	
定期試験の結果を主に、出席状況、課題を加味して評価する。		経絡経穴概論(医道の日本社) 経穴経絡経穴概論Ⅰで配布したプリント 適宜プリント配付 Youtube動画	
担当教員の実務経験の有無	有		
実務経験の内容			
鍼灸師として勤務経験あり。			

シラバス

令和7年度

MCL盛岡医療大学校

トータルケア鍼灸学科		専門分野	
科目名		講師名	
はり実技		堀 優貴	
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数	教育方法	
1年・通年	60時間／2単位／30回	実技	
授業概要 (目的)	安全性と衛生操作を理解した基礎的な鍼の操作方法を修得し、的確な人体への刺鍼技能の習得を目的とする。		
目標	鍼の名称や手技について理解を深め、実施できる。 鍼の扱いに慣れる。 安全で衛生的な人体への刺鍼ができる。		
授業内容	教育内容	教育方法・留意点	
	・はり施術上の注意事項、消毒法 ・鍼の基礎実技 (片手挿管、管鍼法、旋撚刺法・送り込み刺法、水平刺・直刺・斜刺) ・17手技 ・人体への刺鍼 (下腿、上肢、腰背部、肩背部、頭部、顔面部)	・教材を参考に実技をおこなう。 ・人体への刺鍼を行うことから、細心の注意を払い集中して授業を受けること。	
成績評価の方法		テキスト・教材・参考書	
実技試験の結果を主に、出席状況、課題を加味して評価する。		はりきゅう実技(基礎編):(医道の日本社) 経絡経穴概論:(医道の日本社)	
担当教員の実務経験の有無	有		
実務経験の内容			
京都府内大学附属鍼灸センターにて5年間の臨床経験あり。 京都府内鍼灸院にて2年間臨床経験あり。 盛岡医療大学校にて2年間の教務経験と附属鍼灸院での臨床経験あり。			

シラバス

令和7年度

MCL盛岡医療大学校

トータルケア鍼灸学科		専門分野	
科目名		講師名	
きゅう実技		梶谷 聖	
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数	教育方法	
1年・通年	60時間／2単位／30回	実技	
授業概要 (目的)	灸施術での危険性を理解し、安全かつ基本的な対人施灸技能の習得を目的とする。		
目標	経穴を取穴し、人体への一点連続施灸／二点三壮施灸ができる。		
授業内容	教育内容	教育方法・留意点	
	①灸の歴史、材料、製法、効果の基礎知識と消毒、消火、廃棄など安全な取り扱い方法を学ぶ。 ②経穴部位を教科書で確認し筋、腱、神経等を把握、取穴練習を反復。(前腕、下腿、腰背部主要穴) ③人体への連続施灸 及び 二点三壮施灸練習を反復。	・実技デモンストレーション後、各ペアで 実技練習。巡回による指導を行う。 ・人体への施灸を行うことから、火傷を中心に細心の注意を払い集中して授業をうける。	
成績評価の方法			
実技試験の結果を主に、出席状況、授業態度、課題を加味して評価する。		はりきゅう実技(基礎編):(医道の日本社) 経絡経穴概論:(医道の日本社)	
担当教員の実務経験の有無	有		
実務経験の内容			
京都府内大学附属鍼灸センターにて5年間の臨床経験あり。 新潟県内鍼灸整骨院にて2年間の臨床経験有り。			

シラバス

令和7年度

MCL盛岡医療大学校

トータルケア鍼灸学科		専門分野	
科目名		講師名	
トータルケアはりきゅう実技Ⅰ		堀 優貴／梶谷 聖	
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数	教育方法	
1年・後期	30時間／1単位／15回	実技	
授業概要 (目的)	トータルケアを実施するために、必要な手技や技法を学び、安全に実施することを目的とする。		
目標	トータルケアとは何かを考え、実行するための手段としてのはり・きゅう療法を安心・安全に実施、説明ができる。		
授業内容	教育内容	教育方法・留意点	
	第1回:トータルケア実現のためのはり治療をまなぶ 第2回:トータルケア実現のためのはり治療をまなぶ 第3回:トータルケア実現のためのはり治療をまなぶ 第4回:トータルケア実現のためのはり治療をまなぶ 第5回:トータルケア実現のためのはり治療をまなぶ 第6回:トータルケア実現のためのはり治療をまなぶ 第7回:トータルケア実現のためのはり治療をまなぶ 第8回:トータルケア実現のためのきゅう治療を学ぶ 第9回:トータルケア実現のためのきゅう治療を学ぶ 第10回:トータルケア実現のためのきゅう治療を学ぶ 第11回:トータルケア実現のためのきゅう治療を学ぶ 第12回:トータルケア実現のためのきゅう治療を学ぶ 第13回:トータルケア実現のためのきゅう治療を学ぶ 第14回:トータルケア実現のためのきゅう治療を学ぶ 第15回:トータルケア実現のためのきゅう治療を学ぶ		
成績評価の方法		テキスト・教材・参考書	
実技試験の結果を主に、出席状況、授業態度、課題を加味して評価する。		はりきゅう実技(基礎編):(医道の日本社) 経絡経穴概論:(医道の日本社)	
担当教員の実務経験の有無		有	
実務経験の内容			
堀:京都府内大学附属鍼灸センターにて5年間の臨床経験あり。京都府内鍼灸院にて2年間臨床経験あり。盛岡医療大学校にて2年間の教務経験と附属鍼灸院での臨床経験あり。 梶谷:京都府内大学附属鍼灸センターにて5年間の臨床経験あり。新潟県内鍼灸整骨院にて2年間の臨床経験有り。			

シラバス

令和7年度

MCL盛岡医療大学校

トータルケア鍼灸学科		専門分野	
科目名		講師名	
臨床実習 I		加納 舞	
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数	教育方法	
1年・通年	45時間／1単位／23回	実習	
授業概要 (目的)	医療人としての適切な倫理観と態度および、安全な鍼灸臨床に必要な知識を習得し、臨床にいかせる能力を身につける。		
目標	1. 鍼灸師の役割と自分自身を知ること、将来に向けた展望を計画できる。 2. 安全な鍼灸臨床に必要な知識を習得できる。 3. 医療人としての適切な倫理観と態度を習得できる。		
授業内容	教育内容	教育方法・留意点	
	・鍼灸(東洋医学)を学ぶということ ・鍼灸師を知る・自分を知る ・鍼灸師に求められる役割とは ・キャリアビジョンの作成 ・医療人および鍼灸師として、ふさわしい態度 ・患者対応とマナー ・附属鍼灸院見学実習	・実習の手引きに沿って、講義・演習・実習にて実施する。 ・欠席した者はレポート提出の権利を失うため注意すること。	
成績評価の方法		テキスト・教材・参考書	
出席状況、授業および実習参加態度、授業レポート、ディスカッション・カンファレンスへの参加姿勢 から総合的に判断する。		実習の手引き(2025年度版)	
担当教員の実務経験の有無	有		
実務経験の内容			
大学附属鍼灸センター2年, 介護施設2年, 開業(出張)2年(以上兼務) 本校附属鍼灸院6年			

シラバス

令和7年度

MCL盛岡医療大学校

トータルケア鍼灸学科		専門分野
科目名		講師名
トータルケア概論		加納 舞
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数	教育方法
1年・前期	15時間／1単位／8回	講義
授業概要 (目的)	本講義では、鍼灸師として必要な「トータルケア」の基本概念を学ぶ。トータルケアとは、身体・心・社会的側面を含む包括的なケアであり、患者一人ひとりの背景を理解し、尊重したアプローチが求められる。高齢化や慢性疾患の増加に伴い、医療だけではなくケアの視点が必要とされており、本科目ではその理論と実践的思考を養う。	
目標	・トータルケアの概念とその必要性を説明できる(知識)。 ・鍼灸におけるトータルケアの役割を述べるができる(知識)。 ・他職種との連携における鍼灸師の立場を理解し、説明できる(知識・態度)。 ・患者との信頼関係を築くための基本的なコミュニケーション技術を実践できる(技能・態度)。 ・文化的多様性と倫理をふまえたケアの姿勢を表現できる(態度)。 ・セルフケアの重要性を理解し、自ら計画を立てられる(知識・技能)。 ・自身の考えるトータルケアを言語化し、発表できる(技能・態度)。	
授業内容	教育内容	教育方法・留意点
	・第1回:トータルケアとは何か(概念、医療とケアの違い、WHO定義) ・第2回:鍼灸とトータルケア(心身のバランス、QOL、予防医学) ・第3回:医療とケアの多職種連携(チーム医療、他職種との関係) ・第4回:コミュニケーション技術(信頼関係と聞く・伝える力) ・第5回:ライフステージ別のケア ・第6回:東洋医学とトータルケア ・第7回:トータルケアと社会 ・第8回:トータルケアとは何か(学生による発表)	・講義形式に加えて、毎回ミニワークやグループ活動を取り入れたアクティブラーニングを実施する。 ・ロールプレイやディスカッションによって、実践力と共感力の育成を促す。 ・多様な価値観や文化を尊重する姿勢を大切に、他者の意見を否定しない学習環境を整える。 ・学生の自己表現の機会を設け、自身の考えを発表することで内省を促す。 ・プレゼンテーション評価やワークシート記述を通して理解度を把握する。
成績評価の方法		テキスト・教材・参考書
出席状況、授業および実習参加態度、授業レポート、ディスカッション・カンファレンスへの参加姿勢 から総合的に判断する。		毎回授業プリントおよびワークシートを配布する。
担当教員の実務経験の有無	有	
実務経験の内容		
大学附属鍼灸センター2年、介護施設2年、開業(出張)2年(以上兼務) 本校附属鍼灸院6年		